

第10回 抗酸菌研究会

日米医学協力計画 抗酸菌症部会 合同会議

研究の力で、
結核・抗酸菌症のない未来へ



会期

令和8年
10月30日(金)～11月1日(日)



会場

琉球大学研究者交流施設・50周年記念館
(沖縄県中頭郡西原町千原1)

大会長:梅村 正幸 (琉球大学熱帯生物圏研究センター)



対象

抗酸菌研究者・抗酸菌研究に興味のある方



参加申込

8月31日(月)まで



参加費

無料



お問い合わせは
mycobac.soc@gmail.com まで。

< 教育講演1 >

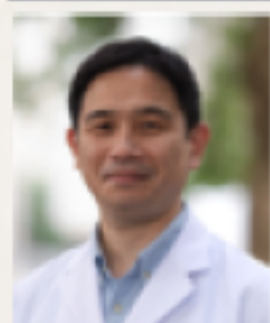


薬剤感受性検査の極意
-新たな課題と必然性

吉田 志緒美

(公益財団法人結核予防会結核研究所
抗酸菌部・主任研究員)

< 教育講演2 >



肺NTM症診療の現状と課題

金城 武士

(琉球大学大学院医学研究科
微生物学講座・教授)

< 特別講演 >



腸内細菌の挙動解析のための
*in vitro*腸上皮組織モデル

尾上 弘晃

(慶應義塾大学理工学部
機械工学科・教授)

第10回抗酸菌研究会事務局

金城 武士 (琉球大学医学部)

稲福 征志 (琉球大学農学部)

みなさまのご参加をお待ちしております!

第10回抗酸菌研究会・日米医学協力計画抗酸菌症部会 合同会議 開催概要

【研究会の趣旨】

抗酸菌研究会は、抗酸菌症に関する基礎研究および臨床研究の統合的発展ならびに次世代研究者の育成を目的として2016年に設立された。本年は創立10周年の節目を迎えることから、これまでの活動実績を踏まえ、抗酸菌症研究のさらなる学術的発展と国際連携の強化を目指し、記念研究会を開催する。

本研究会には毎年80名以上の研究者・医療従事者が参加し、日米医学協力計画抗酸菌症部会のパネルメンバーが運営に参画することで、国際的視点に立った学術交流の場として機能している。特に、若手研究者による一般演題発表（約30題）を中心に据え、優秀演題表彰制度を設けることで、研究の質の向上と次世代研究者の育成を体系的に推進している。

また、優秀発表者に対しては、日米医学協力会議における発表機会を提供するとともに、旅費支援を行うことで、国際舞台での研究発信を後押ししている。これにより、若手研究者の国際競争力の向上と日米間の研究ネットワークの強化に貢献している。

さらに、大学院生およびポストドクトラルフェローの参加を促進するための旅費補助制度を整備するとともに、招聘講演を通じて最新の研究動向および先端技術に関する知見を共有し、分野横断的な研究連携の促進と新たな研究領域の創出を支援している。

以上の取り組みを通じて、本研究会は抗酸菌症研究における学術基盤の強化、人材育成および国際連携の推進に重要な役割を果たしている。本記念研究会の開催は、これらの機能をさらに発展・強化し、抗酸菌症研究の持続的な発展に寄与することが期待される。

(期待される効果)

1. 抗酸菌症に関する基礎・臨床研究の成果発信および学術交流の促進
2. 若手研究者（大学院生・ポストドクトラルフェロー）の育成と研究基盤の強化
3. 日米医学協力会議をはじめとする国際共同研究への展開と研究ネットワークの強化
4. 国際発表機会の提供を通じた研究者のキャリア形成支援

【本研究会の概要】

主催：抗酸菌研究会

共催：日米医学協力計画 抗酸菌症部会

大会長：梅村 正幸（琉球大学熱帯生物圏研究センター・准教授）

日時：2026年10月30日（金）13:00～11月1日（日）15:00（予定）

会場：琉球大学研究者交流施設・50周年記念館

（〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1）

規模（2025年度実績）：約80人

プログラム：現在公募中（2026年8月末締切）

招聘（教育および特別）講演（3名内定）

教育講演 講師：吉田 志緒美 先生

（公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部・主任研究員）

教育講演 講師：金城 武士 先生

（琉球大学大学院医学研究科微生物学講座・教授）

特別講演 講師：尾上 弘晃 先生

（慶應義塾大学理工学部機械工学科・教授）

参加費：無料

以 上

文責：第10回抗酸菌研究会・
日米医学協力計画抗酸菌症部会 合同会議
大会長 梅村 正幸

琉球大学 熱帯生物圏研究センター
感染生物学部門 分子感染防御学分野
〒903-0213
沖縄県中頭郡西原町千原1番地
琉球大学 分子生命科学研究施設
Tel & FAX : 098-895-8971
E-mail : umemura@cs.u-ryukyu.ac.jp
